

りんせん通信

7
2020

発行：アロマセラピールーム林泉 <http://rinsen-aroma.com>

2020年7月7日発行(通巻第113号)

～花と緑の香りめぐり10～

「四季の香ローズガーデン」を訪ね、 日本原産のハマナスを体験しました



香り専門の植物園です

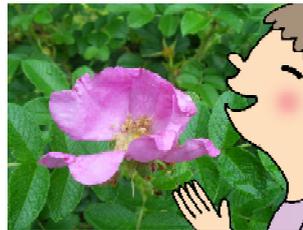
「四季の香ローズガーデン」は、香りのいいバラを集めた練馬区の植物園です。

大江戸線・光が丘駅から、団地のなかを抜けて、3分ほど歩くと到着します。入口のゲートに近づくと、お花の香りがほんのりと漂っていました。

ゴージャスに香るハマナス

この日1番の収穫は、ハマナスの香りを体験したこと。見た目は素朴な花ですが、香りは甘く濃厚です。

本来バラの盛りは5月の連休のあたりですから、このハマナスも少し散りかけています。ところが、香りは力強く、びっくりするほどでした。



梨に似ている？

ハマナスの花は、あまりバラっぽく見えません。けれど、れっきとしたバラ科バラ属の植物。原産地は、日本を含む東アジアで、海岸に自生します。

写真はハマナスの実。梨に似ていることから、この植物に「浜梨」という名がついたそうです。

ブルー系も香ります

こちらは、ブルー系に分類される「しのぶれど」という品種。見た目は大人しげですが、よく香ります。

ただハマナスとはちよつと違う印象で、香りに複雑さや柔らかさを感じます。紅茶のダージリンなど、さまざまな要素が混ざっているということです。



バラのトリートメントお試しください

残念ながら、ハマナスやブルー系の精油は一般に流通していません。その代わりアロマセラピーでは、ブルガリアが主産地のダマスクローズが使われます。ダマスクローズは甘く華やかで「精油の女王」と呼ばれるほど。林泉でも用意してお待ちしております。

おすすめアロマグッズ No.79



ブルガリアンローズ・モイストチュアライザー

アルテヤ・オーガニックは、ダマスクローズの本場・ブルガリアの化粧品メーカー。香料をはじめ全素材が天然の保湿クリームが出ていると聞き、使ってみました。

ダマスクローズの香りが濃く、お花を直接嗅いでいるよう。それでいて強すぎないので、香りに酔うこともありません。

さらっと伸びのいいクリームですから、暑い日も気持ちよく使えます。

音楽でリラックス 7月の一枚

ジョビン・ヴィオロン

アルトゥール・ネストロフスキー

アントニオ・カルロス・ジョビンは、「イパネマの娘」などで有名なブラジルの作曲家。こちらは、そのジョビンの曲をクラシック・ギターのアレンジで弾くというアルバムです。ブラジル独特のリズムは希薄ですが、そのかわりリリカルなメロディに心を配った演奏が楽しめます。

編集後記

「四季の香ローズガーデン」のすぐ向かいに、普通の「バラ園」もありました。けれど、そちらはあまり香りを感じません。

品種改良の際に重視されるのは、花の大きさ、持ち具合、収穫量などで、香りは二の次になりがちと聞いたことがあります。

この日、いろんな香りのバラに触れ、育種家の方々にお礼を言いたくなりました。